

統合保育園名称の決定について

令和8年秋開園予定の統合保育園の名称を、名称公募、名称投票、選考委員会による審査を経て、以下のとおり決定しましたので報告します。

1 新園の名称：かきっこ保育園

2 経過

(1) 名称公募

- ・応募期間：令和7年10月16日から令和7年11月7日まで
- ・応募総数：全国44都道府県から498名（うち町内からは115名）
- ・投票対象候補数：351点（近隣施設と同名または重複名称を除く）

(2) 名称投票

- ・投票期間：令和7年11月13日から令和7年11月27日まで
- ・投票数：212票（町内在住・勤務の方）

(3) 統合保育園名称選考委員会

- ・開催日：令和7年12月8日
- ・選考委員：9名（保護者代表4名、公募委員2名、伯耆の国代表1名、子ども・子育て会議委員代表1名、役場代表1名）
- ・選考方法：得票数上位5点を最終候補として選出し審査。以下の「選考の視点」をもとに最終名称を選定

選考の視点	内容
親しみやすさ	こどもたちが楽しく通えるよう、覚えやすくやさしい響きであること。
南部町の魅力	町の自然や歴史を大切にしている思いが込められていること。
こどもたちの未来	町のこどもたちの未来への希望を感じられること。

(4) 選考委員の意見

- ・南部町の名産である柿で、「かきっこ」という親しみやすさがある名が良いと思う。同名園が少ないのも良いと思う。
- ・特産の柿をイメージしていて、名前も覚えやすく言いやすい。県内外で同名が1園のみもいい。柿に対してこどもも親しみがある。
- ・南部町の名産の柿が入っており、全国的にも他の保育園とかぶらないため、南部町のイメージと合う。
- ・福里地区や旧会見町の主要道路に柿の電灯があるため、富有柿が特産品で地域の特色を生かしており、こどもたちが秋に実る柿のように、すくすく育ってほしいから。
- ・南部町をイメージさせ、地域との関わりが深いイメージ。他にない名前でも新しく良い。